夕刊 磐城新聞
二月二十二日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八五五六五番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩も明日も北西の風晴

親しめるアイヌ

往年の南極探險隊長 白瀬老中尉の記事を見て

柏木哲

（下）

彼は氣象觀測係を『誰クン』寫眞班を『彼クン』と云つた具合に、中尉以外の全隊員を凡て同様扱ひにしてゐたが思ふに一度臍を曲げたら容易にその柔順を取り戻さぬ彼ら種族の習性を見透した全隊員は山野、花守兩アイヌの機嫌を損ふまいとして、自分らがクン呼ばはりをされ乍ら、彼らに對して大に優越感を持たせたであらうと思ふ。

○

歸朝してから花守に對して行はれた一大論功行賞とも云ふべきは、東京で日夜歡迎攻めに會つて居た當時彼らの最も憧れてゐるシャモ（內地人）の女を妻として授けられた事であるが、其の女は間もなく花守の懐ろから脱け出して白首の群に役じたらしく、自分が澀香に行く以前豐原時代に見知つた秋田縣の生れで二十四浦（つづら）サダと云ふのがそれであつた。

折角ありついた性のパートナーに逃げられて、自分の行つた頃には、寂しい男やもめ暮らしをして居た彼は、歸朝當時に於ける東京でのモテ方が忘れられず、適々世界大戰當時だつたので、我が軍の手に歸した青島の話を誰から聽き込んだものか『カムイ（神）の來知らせだ』と云つて、青島行の斡旋方を頻りと自分に頼むのであつた。

他の警察官などは『馬鹿が入つたのだ』（氣の狂つた事をアイヌ間では斯く云ふ）と云つて全然相手にしなかつたが自分は日頃の關係上そう熱心に迫られては滿更知らぬ顔も出來ず、ホト／＼閉口したが、そのうち彼も何時か諦めたと見えて、話は遂その儘になつて了つた。

○

その後再びシャモの女を娶つたが、何か痴情關係で之を慘殺した廉で、豐原の刑務所に服役中と聞いたが、生きて居るとすれば、もう良い年の筈である。——家鳴り震動物凄い吹雪の夜。ストーブを圍んで、あの異國情調な聯助官舍で、更くるを忘れ語り合つた純情の好漢、眼窩凹み顴骨秀で身毛頗る多い與に典型的のアイヌ花守信吉こそ、いま白瀬老中尉の朝鮮落ちの記事を見て沛然と憶ひ出さずには居られぬ一人ではある。（一月四十日夜）

2月23日

△平家賞士川水禽の音に驚き走る（治承四）△元政上人生る（元和九）△蝦夷（箱館）奉行を置く（享和二）△詩人キーツ歿（一八二一）

贈松本平製氷專務取締役

珠雲 小野務平

有學有才通百方
青松貞節勃風霜
製氷亦是難中難
欽仰俗君業績昌

千人針由來（七）

東國愁

併しながら國家の婦女子が、出征軍人の戰捷を祈り凱旋を待つ爲、か弱い身體でよし千社を參拜しなくても百社を巡り、百札を納め或は千人の娶を縫ひ針を裝微した系布を作る、其れ自體が靈肉一致の實行奉社は必ずや神佛に通じて加護せられ、出征人そのものも之凱旋、感激して戰地に立派な勳功を立て、堂々として郷土に歸來しうることになるのである。故に日本俗に云ふ軍の神、之に附會されゐ戰捷、千勝（チカツ）（近津と文字を替へたと同慈）は後世の千社參り千社札、千人針等諸行動を促して、國家的運動にまで進展させるに至つたのは、到底科學では論究が出來ない。

×……◎……×

時吟

平華生

○いゝ利子に惚れて裸にひんむかれ
○臍繰をスッテ婆さん氣が狂ひ
○時局をば知らぬ筈な！泥仕合
○兩雄の爲めに喧嘩の絶へ間なし
○ドッチかじ大腹ならば喧嘩なし
○公平な批判は市民してくれる
○負けた樣で勝て居るのが無手勝流

講談

悲壯 髑髏組（どくろぐみ）

(121) 林杢兵衛作 金子士郎畫

生か死（四）

『親分!!!』

悽へを帶びた粂白の聲だ

『親分衆が、もし、あつしの罪をお赦し下さるなら、あつしや親分衆を其處からお助け申した上、髑髏組の秘密をすつかりお話しても良う御座んすがね』

茂十と源七は、顔見合せて意味あり氣に笑つた。

『なる程、それや利巧な考へだ。そうして手前が今後の改心すると云ふなら俺達が力を入れて特別に手前だけ赦して貰つてやろうよ』

『有難う御座んす。あつしや本當に根ッから惡黨ぢや御座せん、髑髏組に脅かされて仕方なくその仲間になつたので……』

『さうだらう。見れや正直さうな面つきだ』

『へい、有難う御座んす』

『ぢやア手前は仲間を裏切つて俺達を助けてゐと云ふんだな』

『さうで御座んす。遁かれ早かれ、どうせ捕まるに違ひねえ仲間の運命、潔よく此方から年貢を納めて、ちつとでも罪を輕くして貰ふ方が當世向で御座んすよ』

『それやまつたく手前の云ふ通りだ。天下の法ッ犯しまで、惡黨に義理を立てしも、それは決して立派な仕業でねえからなア』

『有難う御座んす、だから親分、あつしやア覺悟をしたんです。これがもし仲間に知れやうものなら、あつしや其場で殺されます、どうぞその邊もよろしくお含み置きが願ひてゐるもので御座んす』

『手前が本當にその氣ならお上にだつて情けはある。死なすやうな酷アねゑから安心しろ、どに角、こう濡れ鼠ぢや寒くて仕方がねえ何んとかして早く此處から出してくれ』

『へえ、只今お出し申しますが、暫くお待ちを……其處の水のはけ口から出て貰ふんですが、今直ぐ』

『うむ、此處のか』

源七が、その口に近寄つて外を覗いた。矢張り彼等の想像通りその下は堀割りの水道で、一間位の巾がある。

粂白は何をしてゐるのか待てど暮せど其處へは出て來ない。

『馬鹿に手間が掛るぢやねえか矢の倉の、これや少し怪しいぜ』

『うむ、其處から勝手に出られねえのか』

『出られるよ、だが下は水だ。深さが判らねえ』

『其處へ船を廻すと云つたから、外へ出られるに違ひねえがえゝまゝよ、少し寒いが濡れ序に泳がうか、魔誤々々してゐたらまたどんな罠に引ッ掛かるかも知れねえからよ』

『違ひねえ、なあに、大したこともあるめえよ』

二人は決心して其處を抜けて水中に身をおどらした。そうして其處を出ると、水道を溺みの方へ懸命になつて泳いだ。

トンネルの間は思つたより短くて、泳ぎ出た處は中洲河岸、しかもその岸に、如月の船が繋いであるのがすぐ目についた。

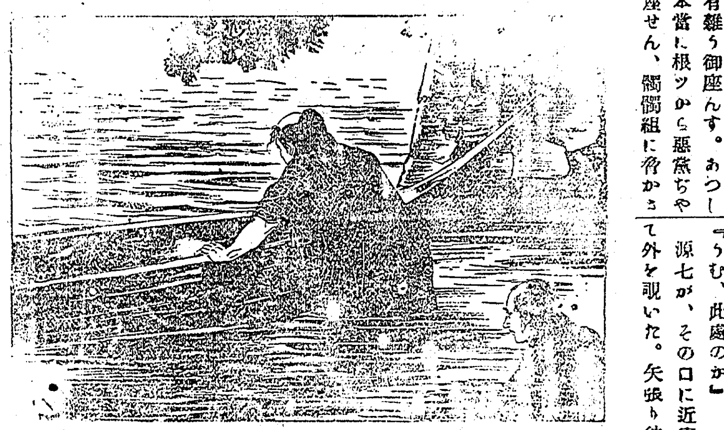
二人は左右から船側に手をかけて、船の中心を保ち先づ茂十が上半身を浮かした。

と、同時に

『あつ！』と、茂十の擧げる驚愕の聲。

船の中には、粂白が後ろ袈裟に斬り下されて鮮血にまみれてゐる。

九死に一生を得た茂十と源七は、家へ歸つて冷た五體を温める暇もなく、直ぐに料亭如月を包圍する手配をした——



廣告

おでん 一平（イッパイ） 電話二六三番

ベークライト職工見習募集
一、募集人員三十名
一、年齡十四歲以上二十歲迄ノ男子
一、待遇
十四歲—十六歲日給七十五錢
十七歲—十八歲　八十錢
十九歲—二十歲　一圓
技術修得ト共ニ漸次昇給ス
一、寄宿舍の設備アリ、賄料ハ實費トス
一、申込所　平市職業紹介所
詳細ハ、ミクニ工業所若クハ平職業紹介所ニ問合ハセラレタシ
東京市大森區大森町入新井町七丁目二六二
ミクニ工業所 電話大森六九〇九番

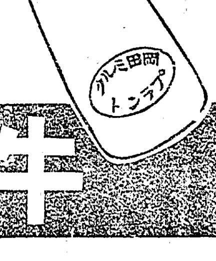
近眼老眼亂視眼用
メガネ澤山取揃つて御座居ます。
是非一度御來店下さい
各眼科處方調製
正確と勉强の店
玉屋眼鏡店 平市二丁目

上原家政婦會
平市紺屋町一一
會主産婆 上原通子 電話二二番
産婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

平市二丁目
あまこ自動車商會
電話六四〇番

吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
平市紺屋町 電話六八番

斷然―賣行よし
信用と品質と共に備つて
平市鎌田町 電話五一番
低温殺菌
岡田牛乳



◎生◎徒◎募◎集◎
ミシン洋裁科
ミシン刺繡科
入學規則皆進呈ス
平市田町 シンガー洋裁女學院

シンガー裁縫機械會社
平市田町
◎販賣社員五名（電話讓り受け度し）◎小店員採用

出征服特賣
高嶋屋の洋服
新柄背廣 レンコート
注文並ニ既製品
高島屋 平市二丁目 電話三八六番

銀 なべ 牛 鳥
豚汁
串カツ
◎珍味御試食願上ます
チンヤ式食堂 靜かな座敷
一の井 平市三田小路 電一六七

品質第一
電話二六八番
平牛乳舍
平市・九品寺前

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します。
福好工業合資會社
代表者 强口唯七郎
自動車部 電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します。

◎互融會事業報告 昭和十三年一月中
融通口數 八五口
融通金額 三、三九〇、〇〇
滿期拂戻口數 八〇口
滿期拂戻金額 四、三三〇、〇〇
概況昭和十三年一月末現在
會員數 八九六口
世帶數 六八五戸
積立金額 三一、三六八、八〇
融通金額 一五、二二八、〇〇
融通金回收高 七一、九〇三、〇〇
滿期拂戻口數 一七五〇
滿期拂戻金額 三三、五二五、〇〇
一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、税金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ奬勵
一、小資本金ノ相互融通
太平火災海上保險株式會社中央代理店
石城中小商工互融會
事務所 福島縣平市梅植小路一番地 電話五五五番
小名濱方部 小名濱町古湊
湯本方部 湯本町天王崎
菊田方部 植田町立町
相双支部 原町東一番町

精神病科
脳脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生 電話九二五番
入院隨時
院長 醫學士 金森五郎

産科
婦人科
花柳病科
午前 宅診
午後 往診
入院 應需
井坂醫院
平市田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

課稅額は增しても 補給金のお蔭で緩和
新豫算と市民の懐ろ具合

全年を通ずれば市として最初の平市十三年度豫算は既報の如く愈よお膳立が整ひ來る二十五日內示會開催の運びに至つたが豫算總額は社會課の新事業である市營質屋(臨時部)の六萬圓を合して約四十八萬圓、歳出額に對して約六萬圓の不足は增稅か歳出削減によらねばならず、市當局も少からず頭を惱してゐたが結局歳出の方は靑沼市長の緊縮方針に基いてギリ/\の編成だけに何れも必要缺くべからざるもので斧鉞を加ふる餘地無く歳入不足はこれを特別稅戶數割の增額其他によつて補塡することにきまつたものゝやうである、尤も特稅戶數割の增額は財政調整補給金の交付を見越したもので豫算面はその負債も一時に增加するやうであるがそのうち交付される前記補給金によつて少からず緩和されることになるは殆ど既定の事實で更に義務敎育費國庫負擔金も交付される筈であり、これによつても歳出方面でだいぶ緩和されるわけである

その額は未だ判つてゐない

六圓八十錢引上
一戶當り戶數割

前記歳入不足補塡のため特別稅戶數割は十二年度の一戶平均十八圓に對し約六圓八十錢の增額により總体で三萬七千八百八圓、この外鎌田遊廓土地變換代千八百圓の兩新財源等でバランスをとつたものである

舊平町の小學校並に平商授業料は十二度同額、第四小學校の分は舊平町分と同樣一人八十錢(舊五十錢)に引上げることになつた

尚公設質屋費は全額を借入れることになる

市會は廿八日頃か

豫算內示會は二十五日午前十時から市內マルトモホールに開く、豫算市會は大体二十八日招集、例によつて二、三日間全員で審議、本會議は來月五日頃になるらしい

銃後の——負擔は市民全部で
市當局では語る

市最初の特別稅戶數割賦課原案は縣の遺家族救護等を考慮した方針等に基き十二年度同額の一戶當り平均十八圓、賦課豫定戶數が五千五百六十戶(十二年度は五、五四六戶)だからその總額約十萬圓であつたものが歳入不足補塡の新財源として增額されるに至つたものである、當局では語る

——時局關係の諸經費も計上されて居り、銃後の負擔は市民全部で背負はなければならないわけで特別稅戶數割の如きも縣の方針では補給金を計上せぬことになつて居るのでこの增稅となつて現はれたわけでせう、然し補給金はさきに市制實施前後の市だけに他町村同樣の取計ひ方を陳情し、政府でも相當額を增すらしいから交付されることは殆ど確定的と見てゐるが

江名信組總會 江名

町信用組合總會を一昨二十日開き理事馬目朝吉氏死亡による役員改選の結果及川富士太郎氏當選

同組合の業績は總益八二、六四三圓四錢、總損五八、七八八圓〇五錢、差引益二三、八五四圓九九錢、配當金三、三二八圓(年四分の割)役員賞與八〇〇圓

軍事後援費寄附

平軍事後援會へ市內田町一重田景治氏から三圓、無名氏から一圓、何れも遺家族慰問費として寄附あつた

郡下校長會
けふ第一校で開催

郡下小學校長會は今二十二日午前十時から第一小學校に於て開催、新學期の對應諸問題に就き種々協議打合せをした

兩磐校卒業式

磐城中學では來月七日、磐城高女は同十八日卒業式を擧行する

あすから防空訓練

警報の迅速確實を目的とした戰時下の防空訓練は愈よ明二十三日から四日間に亘つて行はれるが今回の演習は既報の如く一般の燈火管制はない、各警報所に一名乃至二名の調査員あり警報毎に受領時刻を調査記入、目的の達成に萬全を期することゝなつてゐる、訓練間に於ける防空警報は左の方法で一般に周知せしめる

△空襲警報(警戒警報同解除及燈火管制は行はず)

電話—演習空襲警報

サイレン—三秒を間し六回吹鳴十回

電燈點滅、數秒を間し點滅三回以上

信號—晝間赤旗を左右に振ること數回、夜間火光を以て圓を描くこと數回(第四分團のみ)

音聲(メカホン)演習空襲警報と連呼す

△空襲警報解除

電話—演習空襲警報解除

サイレン—一分間連續吹鳴

信號—晝間白旗を左右に振ること數回、夜間火光を上下すること數回(第四分團のみ)

音聲(メカホン)演習空襲警報解除と連呼す

叱られて…… 春、娘の家出

秋田縣雄勝郡山田村松岡農良藏長女フサさん(二四)は去る十二日母親に叱られて家出、平方面で女中奉公をしてゐるらしいからと父親から平署に搜索願

詐欺 宮城縣伊具郡大堀村川張生れ佐吉正五郎(三二)—假名は今年一月中入山炭礦菅野飯場からオーバ、靴等の外「歸鄕するから…」と金六圓を借り受けたまゝ行方を晦してゐたが遂に二十一日平署へ

憂鬱な受驗の春迫る
從來以上の入學難か
準備指導愈よ白熱化

春の憂鬱、中等學校の入學試驗は愈よあと一ケ月の目睫に迫つた。各校とも一齊に願書の受付を開始したが今の處先き走りした出願も無く、差當り肝腎な準備勉强に沒頭してゐる。大量受驗者を出す百五十名の第一、百三十名の第二等之らは何れも來月十日頃夫々手續きをするので今春の受驗者數は今の處未だ判明せぬが、前後の形勢から觀ると昨年に於ける磐中の一倍半、磐女の一倍七八割、平商の二倍より幾分增加するではないかと豫想さるる節があり各小學校を通し加速度的に準備指導に熱中してゐる模樣である

。。。。竹原大佐講演 本縣聯隊區竹原大佐は二十一日江名町小學校で時局講演、今二十二日午前十時小學校で行はれた未入營補充兵查閱に臨んだ

。。。。度量衡講習會 石城、雙葉兩郡下の度量衡講習會は來月十一日午前十一時から平市會議事堂に開き兩郡下度量衡器及計量器販賣者三十一名參集

目指す處女地滿蒙
義勇軍平驛出發
廿六日內原訓練所へ

〔既報〕滿蒙開拓靑少年義勇軍の本縣選拔試驗は十九、二十の兩日縣下六ケ所に於て愼重に執行した結果、銓衡に合格した者は三百八十一名(石城一五)で、そのうち二百五十九名を先遣隊に殘る百二十二名を本隊に廻すことになり、更に本隊員の募集中である、先遣隊は來る二十五日午後四時まで平市役所に集合し同夜は平市に宿泊。翌二十六日は午前中に出發祈願祭、壯行會などを行ひ同日午後零時四十九分平驛發の臨時列車で訓練所の茨城縣內原に向ひ入所の豫定である

。。。。中平靑年寄附 市內中平靑年團では遺家族慰安映畫會を開きその純益五圓を平軍事後援會へ

村役場稅務書記出奔
情婦から謎の手紙届く

入遠野村役場稅務書記鈴木義作(三九)は十八日突然行方を晦ましたが二十日に至り同人の情婦石森ノブさんから泉郵便局の消印で「義作さんと死んだら一緒に葬つて下さい」旨の便りが義作の兄梅太郎さんの許に届いたので植田署へ搜索願

義作の突然の出奔についてはいろいろ取沙汰されてゐるが公金費消事件の疑ひのある去前同村收入役佐藤喜太郎と何らか關係あるではないかとも云はれてゐる

陣中を聽く (94)
涙無くして聞かれぬ
兩角部隊の苦心談
市內仲間町出身 猪狩政友君(通信)

南京陷落に際し御慰問下され誠に難有御禮申上げます。(略)お蔭樣にて出征以來大過も無之軍務に服し一月一日附を以て〇〇兵〇〇一等兵を命ぜられました。これ一に皆樣の賜と厚く御禮申上げます。

北支に十一月十三日迄四十日間居り大連經由にて廿八日上海に上陸致しました。十二月五日行軍にて出發八日に傳說の地として知られ、詩の都として名高き蘇州に着き約二十日間居りました。

唐の詩人張繼が夜半の鐘を一詩に賦した名刹寒山寺があります。除夜の鐘を多分放送された筈です、現在は無錫に居ります。

皆樣もニュース又は新聞等にて御承知でありませうか、上海大場鎭其他至る處如何に激戰だつたか、吾々後續部隊にも確然と物語つて居ります。この戰跡を見る時第一軍が如何に辛苦されたかが察はれ、自づと涙します、小生の任務は患者輸送である爲め、〇〇から出征された兩角部隊にも會ふ事が出來色々と話も伺ひました。皆涙無くしては聽けぬことばかりです。

內地は六十年來の寒さ、積雪最も多大なる由、如何程か凌ぎ難きことゝ御見舞申上げます。當地は割合に溫かで二回程少量の降雪があつた丈けです。

上海上陸後吾々の部隊にも戰死者が〇名程あります皆チフス等にて風土又は飲料水等に困るものと思はれます。

吾々後續部隊員は身体さへ丈夫であればと思ひ大に注意して居ります。

尙は留守宅にて度々御慰問を受け御世話になり居る由、將又武運長久の御祈願祭もなさるとの事、御厚情深謝致します。

甚だ申し兼ねる事ですが今後共宜く願ひ上げます。最後に皆々樣御健在を申上げ大平市の發展を祈り上げます。(後略)

一月二十九日

軍用候補馬鍛錬協議
各町村に班を設置か

事變下、軍用適格馬の飼育については、有數の馬産地たる本縣でも考慮中であつたが、いよいよ縣下各地に軍用候補馬鍛錬會が結成され、平時に於いて充分なる訓練を施し有事の際いささかたりとも支障のない樣充分の育成をなすことになり先づ軍用候補馬鍛錬協議會を平市でも二十六日開會することになつた、當日は市町村長、馬籍係、鄕軍分會長、產組組合長、農會長、靑年團長、靑年學校長等を集めて打合せを行ひ各町村長はそれぞれ班を設置して鍛練につとめることゝなる筈

國道改良 陳情
來月早々運動開始

既報、勿來、久之濱間四十キロの國道改良工事は沿線部落民が多年に亘る陳情の結果で平、神谷の鎌田山を貫く直通の換線と平神橋の新裝を實現し引續いで目下工事中のサメ川橋位置變更の架け換えを見てゐるが該路線の橋梁には尙は腐朽の尼子橋のかけ換へが差迫つて居りその他カーブの除去や急坂緩和を行ふ全線の舗裝實現には未だ目鼻がつかず同改良工事の期成同盟會では過般實現運動について協議を遂げたが主務省その他要路に對しての陳情は來月早々になるらしい

舊正月二十四日 水曜 丙戌 赤口 成 參宿 新二月二十三日

諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 深入りするときは出逆を失ふやうな注意日▲二黑 何事も至誠を以てすれば可ならざるはなし▲三碧 投機的の事に手を出す時は大失敗を招ぐ日▲四綠 目上に謀り長上にきいて獨斷ないましむべき日▲五黃 自重すれば自然と解決のしよ光現れ來るべし▲六白 目上のおぼえは好けれども同れうに容れられず▲七赤 外に向ひ十分手わんをのばすに良き日なり▲八白 前途の見込みに迷ひを生ずる日飲食に注意▲九紫 良々とした所に出てたる思ひある國運の日

二十三日(小名濱潮候調製)
滿潮 前九、〇〇 後——
干潮 前二、一五 後五、四〇

廣告

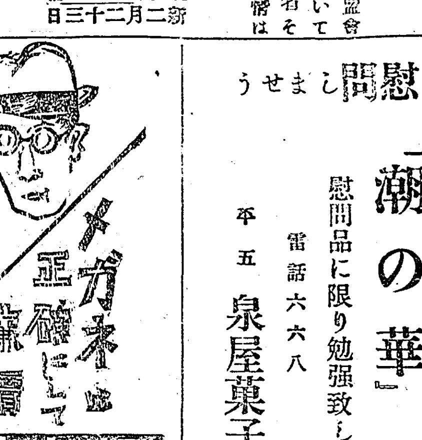
山野邊東次郎創製 胃腸藥 効果頗る優秀 發賣元 山野邊藥局 平・五丁目

磐城名物 靈峰羊羹 小川鄕驛前 平屋賣店

絕對無臭ノ毎日炭
專賣特許ノ毎日炭ハ酸化炭素ヲ含マズ本邦唯一ノ衛生經濟燃料
◎經濟價値木炭ノ優ニ三倍
◎火付ヨク木炭ト同樣
◎火力强ク火持長ク德用
飛火立消ナク水消後再度使用
製造元 淸石產業株式會社
木炭 練炭 豆炭 販賣 平一丁目角 市原商店 電二四四

雲州神國印ソロバン 優勝印高級ソロバン ニコ/\印高級ソロバン ドンコ帳簿。ライカ帳簿
代理店 ウエル萬年筆 ライトインキ ムツソリイニペン ゼネラル、カーボン紙
魁文堂

皇軍を慰問しませう
慰問袋に……
鄕土色滿點の「潮の華」
慰問品に限り勉强致します。
平 五 電話六六八 泉屋菓子舖


眼鏡 メガネは正確にして廉價 最新式各國製レンズ
富豐に取揃へて御座います (亂視用眼鏡卽時調製)
根本時計店 平市二丁目 電話六〇七

◎◎◎◎ 如何にして成金になつゝ?
日支事變は國力の大發展であり我經濟界の一大飛躍期であります。事業の擴充、財界の膨脹期に於て、苟くも株式界に雄飛せんとせらるゝ方は、正に千載一遇の絕好期であると同時に、相當の危險もあることと思はれますので、當事務所各位の危險を避け御成功を希望する爲め過般來敗める法則や罫線學を檢討吟味いたしました結果、茲に株式相場の波動原理と必勝相場術なる憲法書を推奬する次第であります。御希望の方には御申込次第お分ちいたします。
平市四丁目三十三番地 富岡事務所 電話二五八番

銃後の皆樣におすゝめする (糸イラズ)
綿布、絹糸、羅紗の折柄古き破れたる足袋、靴下、メリヤス、ジャケツ、其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひろく國家の經濟は莫大なものとなりませう。男子の方や御子樣方でも容易に修繕出來まして糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい。
(定價二十錢 三十錢)
平市古鍛冶町一〇(縣社下) 阿康藥局 電話四四番 振替東京三〇〇六五番

耳鼻咽喉科專門 レントゲン科
醫學博士 高柳博明 高柳醫院 平驛前 (電三三六)
看護婦募集